

恵海著「米巨大ファンド、アベノミクスを歓迎」大機小機、日本経済新聞 2013 年 2 月 9 日(土)朝刊を読む

## 米巨大ファンド、アベノミクスを歓迎

1. (1)先週、ニューヨークで世界有数の投資ファンドやヘッジファンド、巨大債券投資会社の役員など 7、8 人との小グループミーティングの機会があった。  
  
(2)話題は、アベノミクスや来年 1 月のバーナンキ米連邦準備理事会(FRB)議長の任期到来と米経済の方向などだ。
2. (1)総資産数兆円のファンドの幹部役員、チーフ・エコノミスト、チーフ・ストラテジスト、チーフ・債券トレーダーなど若々しく極めて元気でわいわい、がやがやだ。  
  
(2)米国の失業率目標 6.5 %の達成は簡単ではなく、来年 1 月に政策運営に不慣れな議長が就任すると、米国がインフレとなる可能性も指摘されていた。
3. (1)もっとも話題の中心はアベノミクス。  
  
(2)①日本の金融政策はわかりにくかったがインフレ目標値設定や無制限緩和などクリアになった  
②市場参加者の期待を変化させ、為替は円安になり株価も上昇している  
③補正予算と 2013 年度予算を 15 カ月で着実に実施すればデフレ下での消費増税という危険は回避できよう、  
  
(3)など評価し歓迎している。
4. (1)バーナンキ議長との共同論文もある大手投資ファンドの役員が「日銀の次期総裁は拡張的金融政策を採るであろうが、その場合、日本のイールドカーブ(利回り曲線)はどのように変化するか」との問題を提起した。参加者の見解は以下だ。  
  
(2)残存期間 3 年超の国債や非伝統的金融資産の大量購入などに踏み切れば、長期金利は 0.3 ポイント程度の低下が予想される。問題となるのは景気の回復スピードだ。  
  
(3)4 ~ 6 月の GDP は増加するだろうが需給ギャップは継続し、イールドカーブはフラット化したまま。

(4)年後半になると景気は更に上向き、円安でエネルギー価格が上昇する。

(5)これらを反映して、イールドカーブは若干上方にシフトし、長期が少し持ち上がる形となる可能性が高い――。

5. (1)翌日、ワシントン DC で FRB の前幹部に、前日の巨大ファンドの役員らとの議論を話した。

(2)彼は「それは極めて重要な機会だ。面白かっただろう。事前に知っていたら俺も絶対参加したよ」

6. (1)米国の元気さの神髄はここも見えて取れる。

(2)70 歳を軽く超えた前 FRB 幹部は、世界の巨額流動性を本当に動かしているのは誰か熟知しており、その最先端の感覚を常に自分のものにしたいと本気で考えている。

#### [コメント]

①金融改革、②財政改革、③規制改革を中心とした成長戦略を 3 本の矢に例えた安倍内閣が国の運命を懸けて行っている「アベノミクス」を、海外の有識者はどう評価しているのか。恵海氏のアメリカからの貴重な報告。世界は自分たちのこととして日本のデフレ脱却を注視している。我々にできることは何か、自分たちにできることを考えたい。

－ 2013 年 2 月 10 日 林 明夫記 －